



普段使っている補聴器や人工内耳の正しい管理方法を知っていますか？6月号では管理の仕方について少し確認したいと思います。

梅雨の時期になります

北陸地方の梅雨入りは平年並みなら6月11日ごろ



補聴器や人工内耳の天敵…湿気！

近年、補聴器や人工内耳の防水性能は高まっており、少し水に濡れたからといって、簡単に壊れることは減ってきました。

しかし、補聴器の**電池ぶたを開ける前**に水分をしっかりとふき取っておかないと、水分が補聴器内部に入り故障の原因となることがあります。人工内耳も**充電電池を外す前**に水分をふき取っておきましょう。

普段、補聴器や人工内耳を外してから**乾燥材入りのケース**に入れていますか？

入れるときは補聴器内部の湿気も取れるように電池ぶたを開けてケースに入れましょう。しかし、**補聴器の電池は絶対一緒に入れないで下さい**。電池も一緒に入れてしまうと、空気電池なので消耗が早くなってしまいます。

人工内耳は機種によって保管方法が異なるので、ご不明な場合は相談室にお尋ねください。

もし新しい乾燥剤が欲しい場合は、相談室で1個50円で販売していますので、ご連絡ください。ご自分で準備される場合、100均など市販の乾燥剤でも十分効果がありますので、ご活用ください。



電池はケースのふたに貼り付けておく
(磁力でくっつく)

電池同士は離しておく
(ショートを防ぐため)



電池ぶたは開けておく

補聴器や人工内耳を保管するケース

遠足や校外学習の時に急に強い雨が降ってきて補聴器や人工内耳をケースに入れなければいけない場合もあります。そのような場合に備えて出かける用事がある時にも持っていくようにしましょう。補聴器を入れるケースはしっかりとフタが閉まるものであれば、ご家庭にあるタッパーなどでも構いません。



チェックしてみよう！



保管ケースがある

ケースに乾燥剤を入れている(乾燥剤は使える状態)

電池を外してから本体をケースに入れている
※人工内耳N6は充電電池を外さずそのまま入れる